

9月22日（土）4校合同 模擬国連ワークショップ

- 日時 平成30年9月22日（土）14:00～17:00
- 演題 模擬国連ワークショップ「世界の教育問題をどう解決するか」
- 会議監督 中川 慶氏（模擬国連日吉研究会 OB）

【参加生徒人数】22名(本校7名、晃華学園高等学校7名、横浜女学院高等学校6名、ぐんま国際アカデミー高等部2名)

6月22日、模擬国連ワークショップを本校にて開催しました。今回は晃華学園高等学校、横浜女学院高等学校、ぐんま国際アカデミー高等部が参加しました。テーマは「世界の教育問題をどう解決するか」。資料を読みながら、大使となった国の政策をどのように立てるかを一緒に考えます。通常の会議に出るための準備や模擬体験ができる形で進められました。今回はワークショップのため正式な模擬国連会議ではありませんが、事前課題として担当国の政策を立てた上で講義に参加しました。

【ワークショップ 講義編】



【講師の中川氏】

(1) 議題・担当国の理解…議題概要説明(BG: Background Guide)を読み、議題に対し理解を深める。担当国をインターネットや文献で調査する。

(2) 政策形成…(1)で調べた内容を基に会議戦略(何を目標にするのか、どのように行動するのか)を考える。複数の資料、情報により自分の「オリジナル」を目指す。

(3) 会議当日…公式討議(スピーチ)、交渉(全体交渉、自由交渉)、決議案(各国の最終主張をまとめた文言)の作成の順に進める。決議案の投票により、賛成多数であれば採択される。

議決案(DR: Draft Resolution)の作成は「前文」に背景や理由を記載し、「主文」にて主張を記載する。作る側は、本音と建前を踏まえた「きれいな文」で表現して真意を盛り込み、読む側はその文章から本音や真意を読み取る。

【ワークショップ 実践編】

講義の後、事前課題の担当国政策を発表する。政策を聞き、各国の主張整理シートを記入し、発表後コメントしていく。発表を聞き会議がどう展開するかについても検討する。

■生徒の発表例

- **中国**…教育格差、教育支出の差を、2020年まで国家規模の改革に則り、進めていく。少数民族への教育、教師不足の改善、義務教育の策定が課題。
- **オランダ**…教育支出の比率が高く、初等教育には男女格差が少ない。教師の数や質を高めていきたい。ユネスコの奨学金で教育格差を埋めたい。
- **アメリカ**…人種が多様で様々な文化の子どもがいる。宗教に配慮し異文化交流を進め、異文化紹介の授業を導入し、世界に発信していきたい。国連にもSNSを使って発信してほしい。

■生徒の展開予想

- **途上国**…就学率の向上や女性差別の問題解消、教員の質・数の改善について議論される。援助要請を具体的にすることがある。
- **先進国**…異文化理解や、移民や難民問題への援助、トランスジェンダー問題の解消を中心に議論される。資金援助の際は無制限には認めない等、国益を守る視点も重要である。

■講師から政策形成の留意点

- 政策形成に正解はないので、自分のオリジナリティを大切に。
- 「狙う国益」と「守る国益」を明確に。
- 事前の政策を考えても、会議は変容するので臨機応変に対応する。
- 会議後にレビューをし、総括する。



講義編



実践編



修了証書授与



会議終了後、大使全員集合

わが校の大使

【参加生徒の感想】

- 模擬国連のやり方だけでなく、準備の方法やインターネットの使い方なども学べたので、今後の大会で役立てたい。
- 実践編では会議の展開予想が立つと会議を進めやすくなった分かった。今後会議に出るときは「狙う国益」と「守る国益」を意識していきたいと思う。
- 資料の読み取りや人を納得させられるような文章は、どのようなものなのか説明していただき有意義だった。
- 講義編では、それぞれのテーマに沿って違った調べ方を講義していただき理解が深まった。日本語だけでなく、英語のホームページも利用することで視野が広がると分かった。

この種の初級者向けの「ワークショップ」は大変珍しく、中川講師にとっても初の企画とのことでした。「このような他校との合同企画を定期的で開催して欲しい」との生徒の感想からも分かるように、生徒のニーズを満たす、有意義な企画となりました。